

本気でチャレンジ みんなで笑顔



できごとは、すべてが最善観

※最善観とは、自分に起こるあらゆることは、必然であり、最善であるという考え方

今年も受験シーズン本番の季節になりました。
受験生の願いが、成就しますよう祈念申し上げます。



2人の息子が同時に受験だった2019年は、家族も感染対策に気を遣ったことを思い出します。ナーバスになりがちな受験生に話かける言葉にも気を遣うなど、受験が無事に終わることを願っていました。

1月中旬に行われた大学共通テストが不本意な結果だった長男は、本人が希望した大学への進学はできませんでした。進学先の大学でも2020年からコロナ禍となり、大学施設への立ち入り禁止、リモートによる講義、サークル活動を含めたキャンパスライフは、全てが中止となりました。

コロナ禍の閉鎖的な状況をむしろチャンスと捉えた彼から学んだことがあります。

リモートによる大学の講義は、どこにいても受講できます。誰もいない図書館で編入学をするための受験対策をしていたようでした。

大学3年で、希望する大学への試験を受け直し、編入学制度を活用する進路を彼は選びました。(※編入学とは、大学の在学中に別の大学に入学する制度)

東北から神戸に引っ越し、新天地での生活や就職活動は、多少の戸惑いはあったと思いますが、2019年の大学受験に失敗したからこそ挑戦したい気持ちになったのだと思います。**できごとは、すべてが最善観**であることを彼から学びました。現在は東京の企業で、社会人1年目を送っています。

受験生のみなさん、健康面には十分留意され、当日に力が発揮できることを心から願っています。同時に、入試の合否だけが人生を左右するものでもないということも息子から教えてもらいました。

これからの時代を生きる子どもたちには、**できごとは、すべてが最善観**という考え方もあることを頭の片隅におきながら、何事にも失敗を恐れることなく挑戦する子であって欲しいと思っています。(文責 相田)